

宗像市市民参画等推進審議会会議録（要旨）

日 時	平成25年8月28日（水）9：55～12：15
場 所	メイトム宗像202会議室
委 員	■ 井上豊久 、 ■ 志岐宏美 、 ■ 辻洋子 、 ■ 東博子 、 ■ 前田誠 、 ■ 松永年生 、 ■ 南博 、 □ 宮崎弘子 、 ■ 吉田晴希 （五十音順、敬称略）
事務局	コミュニティ・協働推進課；古川、村上、吉丸、中脇、合島 市民活動交流館館長；服部 むなかた市民フォーラム；梶栗、木村、種田、牟田、人見

1. 会長あいさつ

2. 協議事項

（1）人づくりでまちづくり事業補助金2次募集審査について

①個別審査

1、メイクハッピー&ピース「学習サポート事業」

団体から、提案内容について説明。

●3年目以降の事業を続けていくときに、その運営体制や資金の見通しは如何か。次に専門機関や関係機関、学校との関係性について。

⇒資金面については、現在は、補助金以外は協力者からの協賛金を考えている。3年目以降は、受益者負担もやむを得ないと考えている。関係機関との連携については、現在は出来ていないが、メイクハッピー&ピースと関わらせていただいている団体などと連携したい。

●現役の学生も参加しているのか。

⇒福岡教育大学の学生が、現在7人参加している。

●特別な場所も必要になるというケースもあると思うが、どのような所になるか。

⇒年間で契約できる賃貸物件を探している。場所については、教育大生が移動しやすい場所を考えている。

●予算に使用料として計上されている金額は。

⇒概算で計上している。

●スタッフの確保についての目星は。

⇒全くゼロではなく、数名は確保しているが、宗像全域にも広げていき、コミセンなどの協力もいただきたいと考えている。

●学校の支援学級との関係は。

⇒先生からOKが出てから参加いただくということになる。

●スタッフ研修で当てられているメニューと教育大学のカリキュラムで提供されてい

るものとの整合性について。

⇒特定の学部や学科の学生を募集していくことは考えていないので、カリキュラム自体は各々違って来るし、専門的なことを全員が学んでいるとも限らないので、こちらの研修を受けていただきたいと思っている。

●発達障害などの基礎的な教育を受けていない者が、スタッフとして参加するという理解でよいか。

⇒専門的にやっている学生のみを、ということではない。

●学習サポートを行うスタッフの研修と育成に、初年度は軸足があるように思う。

⇒そのとおり。今年度に関してはスタッフの育成ということに力をいれている。

●スタッフ 10 人に対して子ども 10 人は妥当か。

⇒実際は述べ 10 人ということで 10 人以上に関わっていただき学習会に参加いただくようにと考えている。その中で対象者に合う学生を選んでいくことを考えている。

●コーディネーターはどのような人が担うのか。またこの事業の必要性をどのようにして感じたのか。

⇒学校現場ではマンツーマンの対応ができない、子どもに対応できる時間や近い年齢の人が寄り添ってもらうことが、心の支えや成長に寄与するということを実感した。コーディネーターについては、決定しているわけではないが一応の候補はある。

●会場は福岡教育大学の近くということだが、子どもたちが会場に行くまでの方策はどう考えているか。

⇒送迎については、安全面と放課後の時間などを考慮して保護者に行っていただく。

2、宗像詩吟の会「詩吟を通しての世代間の交流事業」

団体から、申請内容について説明。

●コミュニティの活性化、地域の活性化が掲げられているが、具体的な方策は。

⇒詩吟をとおして色々な活動をしていく中で、集まる数を増やしていく、それを宗像市全域に広げていく。それが活性化につながると考えている。

●発表会の際に、聴衆も参加の機会があるということだが。

⇒老人ホームなどで、子どもたちと一緒にお年寄りがお口の体操をするなど、一方通行ではない方法をとっている。

●もう少し自主財源が必要なのではないか。貸切バスでの交流会は、会員以外の参加費もあるのか。

⇒子どもたち以外は実費を頂きたいと考えている。会費 500 円では活動は困難な状態。

●団体などの運営にかかる経費は対象外となっているが、この提案の内容の妥当性は、市で検証されたのか。

⇒団体経費ではなく事業経費としてみなして差し支えないと判断した。

●チラシで新しい会員の募集とあるが、今の時点では募集はされていないのか。文化祭や交流会に参加するのは今の会員なのか。

⇒発表会は 11 月と 3 月に実施。10 月の交流会は現在の会員で参加する。

- 白虎隊はその時に発表するのか。
⇒まだ先の予定。今年度末になるのではないかと。準備に半年くらいかかる。
- 詩吟の会は子どもだけなのか。
⇒子どもがメインで、大人も若干いる。今回の事業は子どもが対象。会そのものには大人も在籍している。
- 構成の数を教えてほしい。
⇒幼児3人、小学生16人、中学生9人、高校生1人。
- 衣装について、これまでに作ったことはあるのか。
⇒全くない。
- 次はこれが欲しい、その次はこれをと次々に認めていくということが妥当か。
- 今回5人分作るが、次は、別の子ども達はそのユニフォームを使ってやれるのか。個人が使うのか。
⇒下が育ってくるので、上は教えて卒業して、新しい子たちがそれを使う。
- 来場者も詩吟を体験するとか、そのようなものが地域交流体験発表会ということになるのか。
⇒一緒に体験していただく。

3、東海大五高・宗像高校定期戦実行委員会「ザ・マッチ・オブ東海大五高VS宗高」団体から、申請内容について説明。

- 子どもや大人を対象としたスポーツ体験教室のスタッフ体制について。次に、対抗戦開催チラシやポスターの中にはスポーツ体験教室の内容も入れるのか。
⇒スタッフ体制について、両校の指導スタッフ、OB、保護者及び選手が指導。高校生が指導する場合は福岡県高等学校野球連盟の許可が必要。広報チラシについては、1万枚作成し、小中学校や地域をとおして告知。
- 対抗戦だけでなく、体験教室の内容はどの位載せるのか。
⇒流れとしては午前中試合をして、昼食後体験を考えている。その配分で掲載し、体験教室参加者も募る。
- 宗像市内の学校を考えているとのことだが、県内の対抗戦に拡大する考えはないか。
⇒それぞれのOBたちが口コミで情報を得て、観戦のために里帰りをするなどは考えられる。
- これまでに対抗戦をしたことはなかったのか。
⇒野球は毎年6月に練習試合をやっている。その他の部活は不定期。緊張感をもって、地域貢献もやりながら実施したいと考えている。
- 参加見込みは。また、参加チームを広く募るなどは考えられないか。
⇒人数目標は、野球少年だけでも500人を超えるのではないかと。それに保護者や同窓生など。会場は東海大五高で、観覧スタンドでご覧いただく。グローバルアリーナの大会のようなものについては、考えていない。野球については、高野連の野球憲章には、練習試合は2校又は3校となっている。

●硬式ボールやロジンバック、軟式ボールなどが計上されているが、イベント終了後の取り扱いは。

⇒硬式ボールは、大会終了後は練習用のボールとして使用する。ロジンバックについては、4個というのは必要最小限の数となる。軟式ボールについては、ボール投げ用に用意する。

4、福岡教育大学環境サークル eco 愛「フレッシュ eco 活!!in 宗像」

団体から、提案内容について説明。

●他の2大学に同様のサークルや有志の団体はあるのか。次に、3大学との連携の環境づくりの具体案は。

⇒看護大学の方は、そのようなサークルがあるとホームページで確認している。実現には至っていない。連携のために今考えているのは、各大学に出向いてチラシやポスター等の掲示による参加の呼びかけ。

●年度ごとの部員の実績は。活動に対して部員以外の方がどの程度参加しているのか。
⇒これまでの活動実績については、資料を紛失。これまでの活動では、部員のみで活動している。これからはその幅を広げて、他の学生と活動を広げていきたい。

●リリパックは、既に宗像市でも使われているのか。
⇒今のところ把握できていない。福岡教育大学では、生協が使っている。学園祭でもリリパックを使う動きもある。

●キャップについて、後処理が大変で実施率が低いということだが。
⇒把握していなかった。

●インクカートリッジはリユースか、リサイクルか。
⇒承知していない。

●リリパックについては、行政からの情報提供もお願いします。

●リサイクルの受け入れ先がどのように処理しているのか。それが本当に社会のためになっているのか、というあたりの検証はやっていないということか。

⇒ホームページを閲覧させていただき、流れは確認させていただいている。

●どのような形で環境問題や社会のために役立っているか。
⇒ペットボトルキャップについては、イオンに持っていき、それをイオンが協力会社に送付し、その協力会社がペットボトルリサイクル会社に転送し、リサイクル等により現金化されてものがイオンに回るということになっている。そのお金は、イオンから国際協力団体に寄付されて、世界の子供たちの支援として使われているということを確認している。インクカートリッジは、ゆうパックで仕分け業者に送る。その仕分け拠点でメーカー毎に仕分けし各メーカーに送る。その後各メーカーが責任をもってリサイクルし、製品化して郵便局に送り、その集まったカートリッジ1個あたり3円で、その代金を国連環境計画に寄付され、環境保全活動に使われている。先ほどの質問について、リサイクルということで回答させていただく。

●宗像には先駆的な団体がある。そのような情報は掴んでいるか。

⇒改革プロジェクトの方々と一緒に、海岸清掃を行っている。クリーンアップ宗像は名前だけ知っている。宗像大社や釣川でやっているということは承知している。

～ 休 憩 ～

②審査結果とりまとめ

1. メイクハッピーアンドピース

●学校、教育委員会との連携。研修の充実とその報告。コーディネーターの人選に留意の3点を特記事項として、採択。

2、宗像詩吟の会

●地域との交流の充実を特記事項とすて、採択。

3、東海大五高・宗像高定期戦実行委員会

●審判の経費と硬式ボール、ロジンバックについては半額とすることを付すべき条件として、採択。

4、福岡教育大学環境サークル eco 愛

●三大学との連携を確実かつ迅速に。エコキャップの意義についても確認をすることを特記事項として、採択。

3. その他

特になし。

= 散 会 =